

【河川教育】

石狩川振興財団では関係機関・市民団体等の支援として石狩川の水害や治水の歴史、水利用、流域の風土、水文化、防災、河川環境及び川の安全利用などをテーマに学習活動を実践しています。

実践拠点「砂川遊水地管理棟」

『魚類観察会』

平成27年8月29日（土）

【活動の概要】

砂川遊水地に注ぐ3つの川の一つであるパンケ歌志内川は、砂川市民にとってとても身近な川である。

その川の魚類調査を通して、環境に優しい心をもった子ども達の育成を願うとともに、安全に気をつけた友だち同士での川遊びの楽しさを実感させたいと願い企画をしました。

今回は、水メガネを使って魚類の生息状況観察や、たも網を使っての捕獲体験から、砂川遊水地の自然の豊かさを実感させるとともに、自然保護の必要性を学びました。また、ライフジャケットの着用や仲間との助け合いや声掛けから、河川での安全な活動の重要性を理解することができました。

【参加対象者】

自然について関心をもつ児童・生徒・一般市民

【参加人数】

18名（児童10名 中学生4名 大人4名）

【日 時】

平成27年8月29日（土） 9時30分～11時

【場 所】

砂川パンケ歌志内水門吐き水路

【内 容】

- ① 開会式と安全指導
- ② パンケ歌志内川の水門吐き水路の様子（環境）の観察
- ③ 水メガネでの魚類の生息状況や環境調査
- ④ たも網を使っての魚類の捕獲と調査
- ⑤ 捕獲した魚類の水槽での観察と魚の説明
- ⑥ 捕獲した魚の放流
- ⑦ 閉会式と記念品授与



開会式と安全指導



水メガネを使うと水の中がよく見える



たも網はこのように使います



ほれ！魚が入っていたよ



たくさんの種類の魚が採れたよ



この魚は川魚の代表種だよ